

# 流域と外洋をつなぐみち - 遙かなる文化の海廊 -

## 趣 旨

瀬戸内海は古来より西方・大陸文化が我国に初めて渡来する「みち」の始末端でした。そして、現在も流域と外洋の間で水・エネルギー・土砂・栄養塩を受渡する「みち」の役割を果たしています。大規模災害の被災に対し緩和機能に限度がありますが、その調節作用により里海は一定の生産性を維持しています。

例えば、流域に堆砂が発生すれば流出土砂は細粒化し、潮流に浮上して透明度を減少させ、水深減少は航行、波浪・津波の波高に影響するなど、水質・底質問題と自然災害問題は根底で相互に深く関連しており、共通の広い枠組の中で議論すべきです。

そこで、研究者、行政、事業者のみならず、大学生、高校生や市民の皆さまにも参加いただき、瀬戸内の歴史や現況に基づいて、近未来の暮らしと、継承すべき文化について発表、交流の場といたします。



瀬戸大橋  
(写真提供：岡山県)



カキ養殖筏  
(写真提供：岡山県)

日 時 平成24年 8月30日(木) 13:00~18:45  
8月31日(金) 9:30~17:00

会 場 岡山大学創立五十周年記念館 多目的ホール  
岡山市北区津島中1丁目1-1 TEL:086-251-7057

懇 親 会：ピーチユニオン（大学生協会館）

参加料 無 料（定員：400人）  
※ 資料代 1部 1,000円、懇親会費 4,000円

## お申込・お問い合わせ先

瀬戸内海研究会議事務局  
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2  
人と防災未来センター東館5階  
(社)瀬戸内海環境保全協会内  
TEL:078-241-7720 FAX:078-241-7730  
<http://www.seto.or.jp/kenkyu/>  
E-mail:web@seto.or.jp

## 会場案内図



アクセス JR「岡山駅」西口より岡電バス「47」系統7分  
「岡大西門」停留所下車すぐ

主催：瀬戸内海研究会議 共催：瀬戸内海環境保全知事・市長会議 協賛：社団法人瀬戸内海環境保全協会  
後援：環境省、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、(公財)福武学術文化振興財団、岡山大学、岡山理科大学、  
山陽新聞社、中国新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、  
TSCテレビせとうち、(公財)岡山県環境保全事業団、NPO里海づくり研究会議 (以上予定)

詳しくは裏面をご覧ください。

8月30日（木）13：00～18：45

開会 13：00～13：25

趣旨説明 運営委員長：大久保 賢治  
(岡山大学大学院環境生命科学研究科教授)

第1セッション 13：30～15：30

外海からもたらされるもの

座長：柳 哲雄（九州大学応用力学研究所教授）  
☆南海地震と瀬戸内沿岸の津波の挙動  
柴木 秀之（株式会社エコー技術本部副部長）  
☆瀬戸内海における潮位と潮流の特性  
水藤 寛（岡山大学大学院環境生命科学研究科教授）  
☆津波避難計画のための防災教育  
浦川 豪（兵庫県立大学防災教育センター准教授）

第2セッション 15：45～18：45

○流域・沿岸環境の保全と創成の研究並びに活動報告

ポスター発表（ハイブリッド方式）  
座長：比江島 慎二  
(岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授)ポスター発表：ハイブリッド形式  
(ポスター展示は2日間、常時展示)  
\*展示会場：1階市民交流サロン

瀬戸内海研究会議総会 18：00～18：45

懇親会 19：00～20：30

\*会場：ピーチユニオン(大学生協会館) 参加料：4,000円

8月31日（金）9：30～17：00

第3セッション 9：30～11：30

流域から里海への流入負荷

座長：松田 治（広島大学名誉教授）  
☆瀬戸内流域からの流出と堆積の傾向  
大久保 賢治（岡山大学大学院環境生命科学研究科教授）  
☆カキ殻を利用した底質改良の取り組み  
鳥井 正也（岡山県農林水産部水産課）  
☆水害廃棄物の発生予測と処理対策について  
藤原 健史（岡山大学大学院環境生命科学研究科教授）

第4セッション 12：30～14：30

里海のエネルギーと資源の活用

座長：片山 敬一（貝殻利用研究会会長）  
☆瀬戸内海の里海エネルギーの活用  
比江島 慎二（岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授）  
☆炭酸スラグ固化体とサンゴ  
福原 実（岡山理科大学工学部バイオ・応用化学科教授）  
☆セメントを使わず生態系にやさしいコンクリート  
綾野 克紀（岡山大学大学院環境生命科学研究科教授）

第5セッション 14：40～16：40

海をわたる文化と里海のくらし

座長：清野 聡子（九州大学大学院工学研究院准教授）  
☆アマモと牡蠣の海～岡山県日生の里海づくり  
田中 丈裕（NPO里海づくり研究会議事務局長）  
☆朝鮮通信使と献上された岡山の食  
高橋 重夫（元牛窓町教育長）  
☆岡山藩と海の道  
倉地 克直（岡山大学大学院社会文化研究科教授）

総括・ポスター賞表彰式・閉会 16：40～17：00

○ご記入のうえ瀬戸内海研究会議事務局（FAX：078-241-7730 / E-mail：web@seto.or.jp）に8月20日（月）までにお申込み下さい。  
(参加証は発行しませんので、お申し込みのうえ当日会場にお越し下さい。)

フリガナ 氏名	所属	住所	TEL / FAX	研究会議 会員は○	懇親会に (4,000円)
		〒	TEL： FAX：		参加 不参加
		〒	TEL： FAX：		参加 不参加
		〒	TEL： FAX：		参加 不参加